

2023 年 2 月 27 日 実施

受験番号	
------	--

2023 年度大学院法学研究科 博士後期課程入学試験問題

# 英 語

- (1) 問題冊子、解答用紙、下書用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- (2) 解答用紙の所定の欄に、選択した外国語を○で囲むこと。

次の **問題 A** (pp. 3-7) 、 **問題 B** (pp. 8-12) のうちどちらか 1 問を選んで解答しなさい。  
**問題 B** については、Q.1 (p. 8) と Q.2 (pp. 9-12)の両方に解答すること。

Choose either **問題 A** (pp. 3-7) or **問題 B** (pp. 8-12) and answer the questions.  
For **問題 B** , answer **both** questions Q.1 (p. 8) and Q.2 (pp. 9-12).

**問題 A** 下記の文章は、Andrew Monti / Raymond Wacks, *Protecting Personal Information: The Right to Privacy Reconsidered* (2019)という本の書評です。この書評を読んで、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 下線部**[a]**の“such an endeavour”とはどのような“endeavour”のことなのか、日本語で説明しなさい。
- (2) 下線部**[b]**はどのようなことを表現しているのか、特に、“strongly contextualised”という表現が具体的に何を意味しているのかを明らかにしつつ、日本語で説明しなさい。
- (3) 下線部**[c]**を日本語に訳しなさい。なお、単語の意味を日本語に置き換えただけの直訳ではなく、日本語の訳文だけを読んでも意味が分かるように、訳しなさい。
- (4) 下線部**[d]**の“Readers”とは、どのような考えを持つ読者のことか、書評の全体を踏まえて、日本語で説明しなさい。
- (5) この書評の内容からすると、どのような研究者がこの本を読むとよいと考えられますか。この本から得られる知見を踏まえて、日本語で、説明しなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

## 文章非公開

出典

Jelena Gligorijevic, Protecting Personal Information: The Right to Privacy Reconsidered, 79 CAMBRIDGE L.J. 619 (2020).

**問題 B** Answer both Q.1 and Q.2.

Q.1 Elaborate the following text and argue for/against it.

文章非公開

Source: Francis Fukuyama, “A Country of Their Own: Liberalism Needs the Nation,”  
*Foreign Affairs* (May/June 2022).

[https://www.foreignaffairs.com/articles/ukraine/2022-04-01/francis-fukuyama-liberalism-country?utm\\_medium=newsletters&utm\\_source=twofa&utm\\_campaign=A%20Country%20of%20Their%20Own&utm\\_content=20220408&utm\\_term=FA%20This%20Week%20-%20112017](https://www.foreignaffairs.com/articles/ukraine/2022-04-01/francis-fukuyama-liberalism-country?utm_medium=newsletters&utm_source=twofa&utm_campaign=A%20Country%20of%20Their%20Own&utm_content=20220408&utm_term=FA%20This%20Week%20-%20112017)



Q.2 Read the excerpt below from an article and answer the following two questions.

(1) Explain in 250 words what [a] “identity politics” is.

(2) In 250 words, discuss what the issue is in undertaking an approach to create [b] “European civilization” to bolster support for the European Union according to the excerpt.

文章非公開

文章非公開

文章非公開

Source: Rosa Balfour, "Against a European Civilization: Narratives About the European Union," Carnegie Europe (April 6, 2021).

[https://carnegieeurope.eu/2021/04/06/against-european-civilization-narratives-about-european-union-pub-84229?utm\\_source=carnegieemail&utm\\_medium=email&utm\\_campaign=announcement&mkt\\_tok=MDk1LVBQVi04MTMAAAF8ROzX3P7x9SVYXUf44L5r5E5L2MC\\_pp59C5tnBHrutNiA53b619Y5tO5VfkK2tiW2fwh7l-cwx0kHS4Ph0VNkFK6Vy3fPnD9O6G5CUe\\_FX\\_Q&fbclid=IwAR31wR8X7ods0a\\_UeaEP3jr6eGma-z6ywW0WpZRJH6Ahw6uaJRrMlf8vXEw](https://carnegieeurope.eu/2021/04/06/against-european-civilization-narratives-about-european-union-pub-84229?utm_source=carnegieemail&utm_medium=email&utm_campaign=announcement&mkt_tok=MDk1LVBQVi04MTMAAAF8ROzX3P7x9SVYXUf44L5r5E5L2MC_pp59C5tnBHrutNiA53b619Y5tO5VfkK2tiW2fwh7l-cwx0kHS4Ph0VNkFK6Vy3fPnD9O6G5CUe_FX_Q&fbclid=IwAR31wR8X7ods0a_UeaEP3jr6eGma-z6ywW0WpZRJH6Ahw6uaJRrMlf8vXEw)

2023 年 2 月 27 日 実施

受験番号	
------	--

2023 年度大学院法学研究科 博士後期課程入学試験問題

# 独 語

- (1) 問題冊子、解答用紙、下書用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- (2) 解答用紙の所定の欄に、選択した外国語を○で囲むこと。

問 以下の文章を日本語に訳しなさい。(グラフ・表を除く)

**文章非公開**

## 文章非公開

(出典 : Jasper Kunstreich: Stadt, Land, Recht – ein prosopographischer Versuch. Otto von Gierke und die „Untersuchungen zur deutschen Staats- und Rechtsgeschichte“, in: Der Staat als Genossenschaft. Zum rechtshistorischen und politischen Werk Otto von Gierkes, hrsg. v. Peter Schröder, Baden-Baden 2021, S. 39f.)

2023年2月27日 実施

受験番号	
------	--

2023年度大学院法学研究科 博士後期課程入学試験問題

# 仏 語

- (1) 問題冊子、解答用紙、下書用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- (2) 解答用紙の所定の欄に、選択した外国語を○で囲むこと。



問 次の文章を日本語に訳しなさい。 ※問題作成の都合上、原文を一部改変した。

**文章非公開**

文章非公開

出典 : Frédéric Rouvière, *Le Droit Civil*, PUF, « Que sais-jue ? », 2019, 1<sup>re</sup> ed. pp. 4-5.

2023 年 2 月 27 日 実施

受験番号	
------	--

2023 年度大学院法学研究科 博士後期課程入学試験問題

# 中 国 語

- (1) 問題冊子、解答用紙、下書用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- (2) 解答用紙の所定の欄に、選択した外国語を○で囲むこと。

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

文章非公開

出典：王利明『守拙集』、商務印書館、2021年、217頁

問2 次の文章を日本語に訳しなさい。

文章非公開

出典：甄貞編『遏制腐敗犯罪的对策研究』、法律出版社、2015年、1頁

2023年2月27日 実施

受験番号	
------	--

2023年度大学院法学研究科 博士後期課程入学試験問題

# 日本語

- (1) 問題冊子、解答用紙、下書用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

問題1 以下の文章（井上達夫『立憲主義という企て』、東京大学出版会、2019年、pp.79-85より抜粋）を読んで問いに答えなさい。 ※問題作成の都合上、原文を一部改変した。

文章非公開

文章非公開



文章非公開

文章非公開

問1 下線部①「『人の支配でなく法の支配を』という言説の目的が問い直されなければならないのは、この言説に「いかがわしさ」が付きまとっているからである」とあるが、その具体的な「いかがわしさ」とはどのようなものか、について、本文の内容に即して、自分の言葉で説明しなさい。(200字以内)

問2 下線部②「法の支配の理念は、ホッブズが看破したコモン・ロー伝道師たちの欺瞞に解消されるものだろうか。そうではない。ホッブズにとってさえ、そうではない」とあるが、著者によれば法の支配の理念はどのようなものであり、なぜホッブズ(Thomas Hobbes)にとってさえそうした法の支配の理念が欺瞞に解消されないのか、について、本文の内容に即して、自分の言葉で説明しなさい。(300字以内)

問題2 以下の文章（萱野稔人「なぜ私はベーシック・インカムに反対なのか」（中野剛志編『成長なき時代の「国家」を構想する』ナカニシヤ出版、2010年所収）、pp.268-275より抜粋）を読んで問いに答えなさい。 ※問題作成の都合上、原文を一部改変した。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

## 文章非公開

\*ベーシック・インカム： 収入などの条件を付すことなく無条件に一律定額の現金を定期的に給付することによって最低限所得保障を行う政策

問1 下線部①「成熟社会におけるベーシック・インカムの意義」とあるが、それがどのようなものかについて、本文の内容に即して、自分の言葉で説明しなさい。(150字以内)

問2 下線部②「ベーシック・インカムのアイデアには根本的な問題がある」とあるが、著者はそれをどのようなものだと考えているか。想定される反論に対する著者の再反論を含め、本文の内容に即して、自分の言葉で説明しなさい。(300字以内)